

6. 「医療安全対策における地域連携等の現状と課題」

座長：北野達也(星城大学経営学部医療マネジメント
コース主任/分野長教授)

坂本すが(東京医療保健大学副学長)

(1) 「日本医療機能評価機構の立場から(仮)」

栗原博之(公益財団法人日本医療機能評価機構
統括調整役)

(2) 「医師の立場から(仮)」

新田雅彦(大阪医科薬科大学医療総合管理部
医療安全推進室長)

(3) 「病院の医療安全の立場から(仮)」

荒井有美(北里大学病院医療の質・安全推進室副室長/
医療安全管理者)

(4) 「地域連携に伴う病院間相互ラウンドの取り組みの
立場から」

澤田康幸(社会福祉法人恩賜財団済生会和歌山病院
医療安全管理室室長)

7. 「AIと医療ロボット技術の進歩」

座長：味木徹夫(神戸大学医学部附属病院国際がん医療・
研究センターセンター長)

阪上雅史(兵庫医科大学病院病院長)

(1) 「最新の医療AIの動向(仮)」

浜本隆二(国立研究開発法人国立がん研究センター
研究所医療AI研究開発分野分野長/一般社団法人
日本メディカルAI学会代表理事)

(2) 「Hinotoriの開発から5Gを介した遠隔手術実証
実験まで」

山口雷蔵(神戸大学大学院医学研究科医学専攻教授/
神戸大学大学院医学研究科外科学講座国際がん医療・
研究推進分野特命教授)

(3) 「AIホスピタル、AIによる画像診断」

陣崎雅弘(慶應義塾大学医学部放射線科学教室教授)

(4) 「スマート治療室SCOTの開発とモバイルSCOT
への展開」

村垣善浩(東京女子医科大学大学院医学研究科
先端工学外科分野教授)

8. 「最大で最強の地域包括ケア病棟」

座長：仲井培雄(医療法人社団和楽仁芳珠記念病院理事長/
一般社団法人地域医療包括ケア病棟協会会長)

佐竹信祐(公立宍粟総合病院病院長)

(1) 「地域医療に不可欠な地域包括ケア病棟の役割に
ついて(仮)」

石川賀代(社会医療法人石川記念会HITO病院
理事長/石川ヘルスケアグループ総院長)

(2) 「コロナ禍における地域包括ケア病棟の活用例(仮)」

大谷 順(雲南市立病院病院事業管理者)

(3) 「目指せ！ ”小さな巨人” — 地方の地域包括ケア病棟
は地域を支える最後の砦 — (仮)」

高石義浩(医療法人社団樹人会北条病院理事長・院長)

(4) 「ポストアキュート連携型病院の役割(仮)」

戸田爲久(社会医療法人生長会バルピアノ病院院長)

9. 「持続可能な地域医療を目指して～機能分化・連携と
人材マネジメントにおける、医療福祉連携士の可能性～」

座長：中村起也(一般財団法人広南会広南病院神経内科/
医療福祉連携士4期生)

成定啓子(医療法人佑健会木村病院看護部長兼
地域連携室長/医療福祉連携士3期生)

(1) 「医療福祉連携に関する最近の行政の動き(仮)」

佐野 隆一郎(厚生労働省老健局老人保健課主査)

(2) 「医師会が医療福祉連携士に期待すること(仮)」

空地顕一(一般社団法人兵庫県医師会会長/空地
内科病院長)

(3) 「外来看護の中で医療福祉連携士としてできること(仮)」

大久保真里香(加古川中央市民病院看護部)

(4) 「未定」

松岡邦彦(茶屋町在宅診療所)

(5) 「地域連携室から見た連携 総務課から見た連携(仮)」

岡本一女(姫路赤十字病院総務課係長)

(6) 「医療福祉連携講習会について」

大久保 一郎(横浜市健康福祉局衛生研究所所長/
医療福祉連携講習会実行委員会委員/筑波大学
名誉教授)

10. 「医療者は新型コロナとどう闘ったか？」

座長：武藤正樹(社会福祉法人日本医療伝道会衣笠
病院グループ相談役/よこすか地域包括ケア推進
センター長)

高橋弘枝(公益社団法人大阪府看護協会会長)

(1) 「医師の立場から(仮)」

長堀 薫(国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院
病院長)

(2) 「看護の立場から」

武村雪絵(東京大学大学院医学系研究科健康科学・
看護学専攻看護管理学/看護体系・機能学分野准教授)

(3) 「事務の立場から」

中山和則(公益財団法人筑波メディカルセンター
筑波メディカルセンター病院副院長兼事務部長)

11. 「バーコードによる医療現場の改善—現在・未来の
医療マネジメント、働き方改革のために—」

座長：落合慈之(東京医療保健大学学事顧問/NTT
東日本関東病院名誉院長)

折井孝男(NTT東日本関東病院情報システム
(薬剤))

(1) 基調講演 1 「薬機法改正とバーコード表示に関する
動向(仮)」

高橋暁子(厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全
対策課安全使用推進室長)